

上越市と母子モ株式会社が『子育て DX』による妊娠、出産、子育て等の分野におけるデジタル・トランスフォーメーションの推進に関する連携協定を締結

上越市(市長:中川 幹太)と母子モ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:宮本 大樹)は、「妊娠、出産、子育て等の分野におけるデジタル・トランスフォーメーション(以下、DX)推進に関する連携協定」を2月14日(水)に締結します。

本協定の締結により、妊娠、出産、子育て期の市民のほか、その支援を行う人・団体に関わる手続きや業務等のDXを推進し、市民サービスの向上や行政運営の効率化を目指します。

1. 連携・協力事項について

母子モ株式会社が提供する自治体の子育て関連事業デジタル化支援サービス『子育て DX®』を活用し、下記事項に関して連携、協力を行います。

- 妊娠・出産・子育て等に関する手続きや業務等のDX推進の企画・検討
妊婦健診・産婦及び乳幼児健診(歯科健診を含む)におけるデジタル受診票の活用、小児予防接種におけるデジタル予診票の活用、伴走型相談支援など、妊娠・出産・子育て等に関する手続きや業務等のDX
- 妊娠・出産・子育て等に関する支援を行う人・団体に対する業務改革と規制改革に関する事項
- マイナポータルやデータ連携基盤との連携及び他分野での利活用に関する事項
- その他、両者が必要と認める事項

2. 上越市の子育て支援施策について

上越市は子育てに関する基本理念として「みんなで育む子どもの笑顔・輝く未来」を掲げており、施策のひとつとして、2022年6月より母子手帳アプリ『母子モ』を導入し、『きずくはぐ じょうえつ』として提供しています。ほかにも、子育て支援webサイト「上越市子育て応援ステーション」にて、民間企業、団体、NPO法人等と協力して実施している様々な子育てに関する情報を集約して発信するなど、デジタルを活用した施策を積極的に実施しています。

本協定の締結により、妊娠、出産、子育て期に関わる手続きや業務等のDXを推進することで、今後、子育て世帯のさらなる利便性向上や行政運営の効率化を目指します。

3. 母子手帳アプリ『母子モ』について: <https://www.mchh.jp>

妊産婦と子どもの健康データの記録・管理や予防接種のスケジュール管理、出産・育児に関するアドバイスの提供、離れた地域に住む祖父母など家族との共有機能、子どもの成長・発達の目安としての役割も備えている育児日記「できたよ記念日」などの便利な機能から、自治体が配信する地域の情報をお知らせするなど、育児や仕事に忙しい母親や父親を助けてくれる機能が充実しています。



4. 『子育て DX®』について: <https://www.mchh.jp/boshimo-kosodatedx>

自治体の子育て関連事業のデジタル化を支援するサービスです。

小児予防接種・乳幼児健診の手続きのデジタル化や、妊娠～出産～子育ての伴走型相談支援などに対応し、新たな子育て環境の構築に貢献しています。

5. 母子モ株式会社について

- ・代表者: 代表取締役 宮本 大樹
- ・所在地: 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー35階
- ・事業内容: ヘルスケアに関するコンテンツ配信事業

※『子育て DX』は母子モ株式会社の登録商標です。

報道関係の方からのお問い合わせ先

上越市 健康づくり推進課 TEL:025-526-5111

株式会社エムティーアイ 広報部 母子モ広報担当 TEL:03-5333-6755 E-mail:mtipr@mti.co.jp